

家庭学習のすすめ

校長 服部 みどり

子どもたちが未来に向けたたくましく成長していくためには、知・徳・体のバランスが欠かせません。特に、学力は豊かな自己実現のための糧となります。小学校で学習する内容は子どもたちが将来生きていくために必要な最低限度の力です。今、学んでいることが分からないまま、上の学年や中学校に進むことがないよう、本校では、基礎的・基本的な学習内容を一人一人の子どもたちに確実に身に付けさせたいと考えています。

そのために本校では、全教員が授業研究に取り組んでいます。昨年度までの研究を生かし、子どもたちが「考えをもち、高め合う」ことができるようにしていきます。生活科・総合的な学習の時間に焦点を当てますが、どの教科・領域でも「学習問題」や「学習課題」について自分の力で考え、考えたことを伝え合うことで、学ぶ力が高まると考えています。日々の授業の更なる充実に取り組むとともに、朝学習や放課後補習教室の取り組みも充実させていきます。放課後補習教室では、全都の小学校で取り組むことになっている算数のベーシックドリルに取り組めます。発展的な問題に取り組む時間についても将来的に設定できれば良いと考えています。

しかし、学習内容の習熟・定着には、学校の取り組みだけではたりません。学校で学んだことをもう一度くり返す場、学びを補う場がどうしても必要であり、それには、家庭学習が一番適していると考えます。

そこで、保護者の皆様に「家庭学習」についてお願いがあります。

●家庭で勉強する時間を、お子様と話し合ってください。毎日、机に向かう習慣をつけることが大切です。そして、その子の個性と成長に応じた指導と支援をしてください。

- ・低学年では、宿題のやり方についてもしっかり教えていくことが大切です。
- ・高学年では、毎日の家庭学習にも、めあて（目標）をもって取り組ませることが大切です。
- ・難しい問題でも投げ出さずに、根気よくじっくり考えさせることが大切です。
- ・問題が解けないことがあっても、子どもの能力に理由を求めず、一緒に考えたり勉強の仕方を見直したりしながら、励ましたりアドバイスしたりしていきましょう。

●認めること、ほめることを大切にしてください。

- ・お子様がやり切ったことや頑張ったことを認めて、ほめたり励ましたりしてください。そのことが、子どもの自信につながり、やる気を起こさせます。

●テレビを消し、家族で会話や読書をする時間をつくってください。

●規則正しい生活習慣は、学習を支える「土台」となることを教えてください。

- ・朝食は、必ずとるようにさせましょう。また、排便をきちんとさせることも大切です。
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間をお子様と話し合ってください。睡眠時間を十分にとることができるようにしましょう。
- ・家族の一員であるという自覚をもたせ、手伝いなど家族での役割をしっかりと果たしていくことができるようにさせましょう。

家庭学習をすればいいことがあるの？

- ★ 授業の復習・予習をすることにより、学習に対する自信が増し、意欲が高まります。
- ★ 漢字や計算などは、くり返しの練習によって確実に習熟・定着していきます。
- ★ 読み・書き・計算によって脳が活性化します。
- ★ 家庭学習の習慣ができると、自ら学ぶ子どもになります。
- ★ がまん強さ、根気、集中力が育ちます。
- ★ 家族のふれあいが増し、コミュニケーションが高まります。

学校の授業とつながった家庭学習は、子どもの自信と意欲を育てていきます。

家族とふれあい、家族と信頼し合う中で、子どもは心身ともに健康に育ち、学力も伸びていくと考えます。

家庭学習はどのくらいすればいいの？

<学習時間のめあて>

家庭学習は継続することが大切です。子どもによって机に向かうことのできる時間には個人差がありますが、1日に学年×10分～15分がめやすです。（「確実に学力をつける家庭学習法」「向山式家庭学習法」「本当の学力をつける本」などの記述より）

- 低学年は15分～20分
- 中学年は30分～40分
- 高学年は50分～60分

毎年6年生が対象となっている全国学力・学習状況調査の結果からは、「家で勉強するときに、自分で計画をたてて勉強している」「テストで間違ったところを勉強している」という子どもの正答率が高くなっています。内容や方法が大切なのだと思います。

これは、あくまでもめやすです。子どもの意欲やその日の調子によって、時間は変わると思われます。子どもたちのやる気、自主的な取り組みを温かく受け止め、ほめたり認めたり励ましたりしてあげてください。

今日は漢字をていねいに
たくさん頑張ったな。



よい循環



うれしいな。
明日も頑張ろう。

